

(案)

参考資料 2

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT 

東京都 がん患者の治療と仕事の両立に関する調査  
報告書

令和3年5月

東京都福祉保健局

## 目次

第1章 調査概要	1
第2章 調査結果(病院調査)	3
第3章 調査結果(患者調査)	14
資料	41

**病院調査** 「東京都 がん患者の治療と仕事の両立に関する調査」

**患者調査** 「東京都 がん治療と仕事の両立に関する患者アンケート」

# 第1章 調査概要

## 1 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、東京都内の医療機関及びその医療機関に通院するがん患者への新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響等を把握し、東京都がん対策推進計画（第二次改定）の更なる推進に向け、今後実施するがん患者等への治療と仕事の両立支援に関する具体的な取組を検討するための基礎資料とすることを目的として実施した。

### (2) 対象

	調 査	対 象
ア	病院調査	<ul style="list-style-type: none"><li>・都内の以下の病院の院長又はがん診療責任者（腫瘍センター長、外科統括部長等） 1病院につき1名</li><li>※各診療科ではなく、病院としての方針の回答を依頼</li><li>① 都道府県がん診療連携拠点病院（2病院）</li><li>② 地域がん診療連携拠点病院（26病院）</li><li>③ 地域がん診療病院（1病院）</li><li>④ 東京都がん診療連携拠点病院（7病院）</li><li>⑤ 東京都がん診療連携協力病院（20病院）</li><li>※病院数は、調査時点（令和3年3月）のもの</li></ul>
イ	患者調査	<ul style="list-style-type: none"><li>・上記①から⑤までの病院で、外来治療中のがん患者であって、以下の要件に当てはまる者</li><li>（1） 外来薬物（化学）療法若しくは外来放射線療法を受療中</li><li>（2） アンケート実施日現在、就労している</li><li>（3） 都内在住</li> <li>・上記①から④の病院については、各45部、⑤の病院については、各20部の調査票を病院を經由して配布（計2020部）</li></ul>

### (3) 実施方法

#### ア 病院調査

対象病院宛に、調査票を郵送し、院長またはがん診療責任者が回答して（自記式）、郵送または電子メールにて回収した。

#### イ 患者調査

対象病院に調査票を送付し、病院から対象患者へ調査票を配布した（配布数の詳細は1ページの※1のとおり）。患者が回答後、個別に郵送にて回収した。

### (4)調査期間

（病院調査及び患者調査）

令和3年3月10日から令和3年3月29日まで

## 2 回収結果

調査	配布数	回収数	回収率
病院調査	56件	54件	96.4%
患者調査	2020件(※1)	742件(※2)	36.7%

(※1) 患者調査の配布数は、対象病院へ配布を依頼した総数であり、実際に調査対象者に配布された数とは異なる点に留意が必要である。また、回収率は調査対象病院への配布数を分母として暫定的に算出したものである。

(※2) 「回収数」は、調査票自体の回収数であり、集計に当たっては、調査票上で就労状況を確認し、就労している者に限り対象として行った（就労している者：691人/742人（回答者数））。

## 3 その他

単数回答の回答割合の合計は、四捨五入の関係で見かけ上の数字の合計が100%にならない場合がある。